

エリアインバランスの誤算定について（概要）

平成29年2月9日

	頁
1 エリアインバランス誤算定の経緯	3
2 インバランスの誤算定の内容	4
3 エリアインバランスの誤算定量	5
4 再発防止策 1 : 仕様確認プロセスの品質向上	6
5 再発防止策 2 : 検証試験漏れの防止	7
6 エリアインバランス算定から調整項 (a値) 算定の流れ	8

1 エリアインバランス誤算定の経緯

時期 (2016年)	実施内容
4月1日	電力小売全面自由化制度開始 (計画値同時同量制度・広域機関新システム運開) エリアインバランス算定システム一部運用開始
8月1日	4月分インバランス料金を各事業者へ通知 (実績値確定)
8月9日	4月分のインバランスと調整力量の不一致が判明し、調査開始
8月31日	計画間不整合や低圧太陽光発電の簡易計算による影響等、疑わしき項目の調査開始
9月中旬	エリアインバランス算定システムの算定処理に不具合がある可能性を含め追加調査開始
10月31日	システムのインバランス算定処理 (揚水動力計画) での不具合が判明
11月2日	システム不具合 (揚水動力計画) の改修完了
11月17日	システムのインバランス算定処理 (FIT部分買取・小規模発電等) での不具合が判明
12月14日	システムのインバランス算定処理 (小口融通) での不具合が判明 (システム不備の全容が判明)
12月20日	経済産業省へインバランス誤算定を報告
12月22日	経済産業省より報告徴収を受領

2 インバランスの誤算定の内容

自社小売需要計画、自社小売需要実績において算定項目の誤りがあり、需要インバランスにおいて、過大な余剰インバランスが発生（自社発電インバランスは、誤算定なし）

自社小売の需要計画および需要実績（30分単位）のイメージ

過大な計上



誤算定による余剰インバランスが発生



過小な計上

- ・小口融通の実績
- ・FIT部分買取の実績
- ・小規模発電等の実績

3 エリアインバランスの誤算定量

[単位：GWh]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
相殺 (A+B)	当初	324	225	168	175	285	▲ 5	71	1,243
	修正後	278	127	102	53	113	▲ 28	43	687
	誤算定	46	98	65	123	172	24	28	556
余剰 (A)	当初	362	289	225	245	326	121	150	1,717
	修正後	319	196	169	139	164	107	131	1,226
	誤算定	42	93	56	106	162	14	18	491
不足 (B)	当初	▲ 37	▲ 64	▲ 57	▲ 70	▲ 41	▲ 126	▲ 79	▲ 474
	修正後	▲ 41	▲ 70	▲ 67	▲ 86	▲ 51	▲ 135	▲ 89	▲ 539
	誤算定	4	6	9	16	10	10	10	65

4 再発防止策1：仕様確認プロセスの品質向上

【従来の問題点】

- ・システム担当箇所と依頼元箇所等との確認は打合せ程度で、書面等による内容確認や記録保管がなされていなかった。
- ・システム運用開始前のチェックをシステム担当箇所のみで実施しており、プログラム反映漏れが発見できなかった。

【再発防止策】

システムの要求仕様の正確な情報共有	業務フローの各段階において、システム担当箇所のみならず、依頼元箇所等においても確認すべき運用業務機能の書面による承認手続きを行うこととした。
複数箇所による検証の実施	システムの検証試験・試験結果の承認手続きは、システム担当箇所と依頼元箇所等の複数箇所を実施することとした。
リスク情報の把握・共有	管理職を含めたシステム担当箇所・依頼元箇所等の定期的なミーティングを実施し、作業の進捗状況の確認とリスク情報を早期に把握・共有できるよう見直した。
再発防止策の水平展開	同種システムへの水平展開により、再発防止策の徹底を図る。

5 再発防止策 2 : 検証試験漏れの防止

【従来の問題点】

- ・システムの検証試験において、インバランス実績を集計するための算定諸元（加減算処理項目）が適切に設定されているか、容易に把握できるツールが用意されていなかった。

（検証試験において、不具合を発見する環境が不十分であった）

【再発防止策】

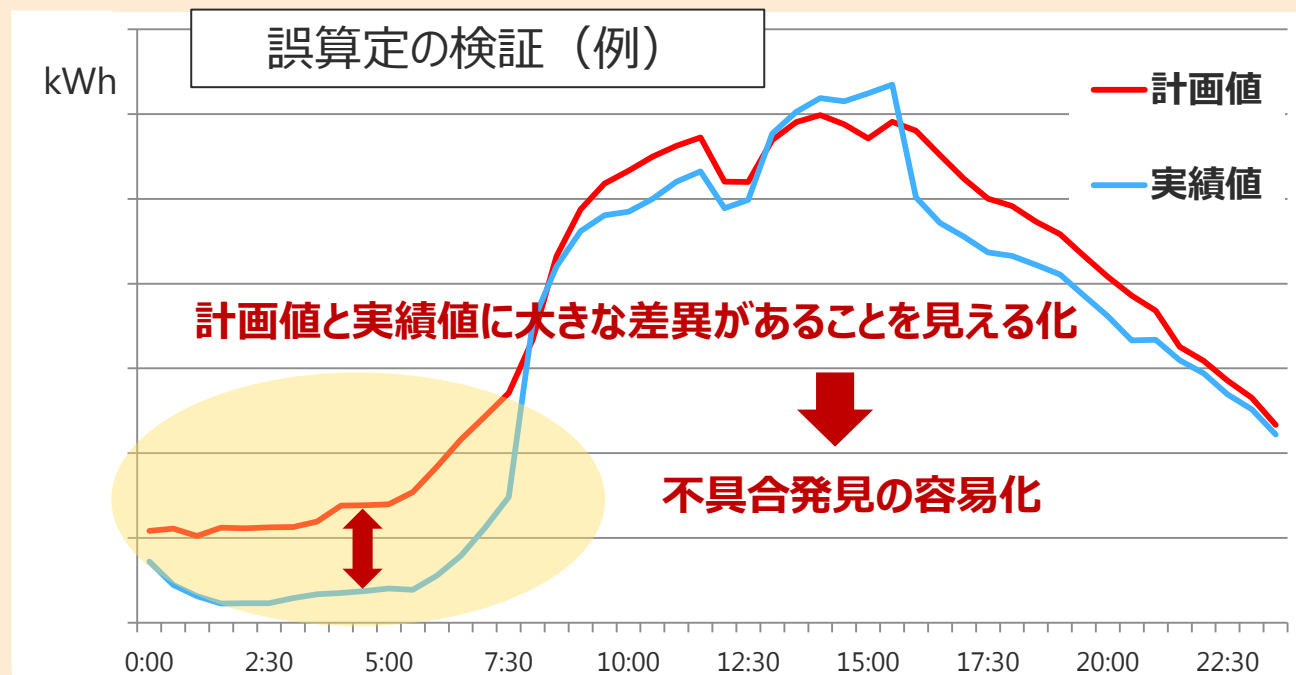
- ・ **算定諸元を見える化する検証ツールの作成**

検証試験および実運用において、算定諸元を見える化する検証ツールを作成することにより、不具合の発見をこれまで以上に容易にする。

【実施時期】

2016年12月 <完了>
暫定対策（手動操作）

2017年 3月 <予定>
恒久対策（自動化）



6 エリアインバランス算定から調整項（α値）算定の流れ

